

平成28年度 技術部技術発表会 発表一覧

発表者	岩下 博通 いわた ひろみち	所属	農学系部門 フィールド系第2グループ
発表題目	大塚農場における台湾輸出向け‘豊水’‘新興’穂木の出荷調整について		
概要	大塚農場では本格的な剪定作業前の12月に台湾輸出向けの花芽穂木の出荷調整を行っている。台湾の低地で日本ナシを栽培する場合、休眠期間の低温不足が影響し花芽の開花に影響を与え、栽培がうまくいかない。そこで自発休眠を終えた花芽穂木を日本から輸入し、台湾在来品種に接ぎ木することで、日本ナシの収穫を可能にしている。今回の発表では大塚農場における出荷調整の様子や台湾での接ぎ木作業の様子などを紹介する。		
発表者	佐藤 健 さとう けん	所属	農学系部門 フィールド系第2グループ
発表題目	フィールドサイエンスセンターの6次産業化への取り組み		
概要	6次産業化とは農業を1次産業としてだけでなく、加工などの2次産業、さらにサービスや販売などの3次産業まで含め、1次から3次まで一体化した産業として農業の可能性を広げようとするものである。本発表では、農学系部門フィールド系グループの技術支援先であるフィールドサイエンスセンターでの6次産業化への取り組みを紹介する。		
発表者	坂本 憲一 さかもと けんいち	所属	工学・情報系部門 実験技術系グループ
発表題目	平成28年度後期・ものづくり実践プロジェクト 「温泉水を利用したナマズ養殖のための機器開発」支援		
概要	ものづくり実践プロジェクトは、ものづくり教育実践センターが行う「総合的ものづくり教育プログラム」の実践授業である。学生は、企業と共に行う製品開発を通して、様々な課題に直面した時に役立つスキルならびに大学で修得した知識の社会への活かし方を学ぶ。今回の発表では、電気電子、知能情報、物質工学科の3年生を対象とした平成28年度後期開設授業を通して、学生の活動およびそれに関わる技術職員の教育支援を紹介する。		
発表者	横野 瑞希 よこの みずき	所属	工学・情報系部門 分析系グループ
発表題目	鳥取大学技術部「出前おもしろ実験室」プロジェクト活動について ～10周年記念イベント開催報告～		
概要	鳥取大学技術部では、平成18年度から子どもたちの科学への興味や関心を深めることを目的とし、本学の地域貢献事業として「出前おもしろ実験室」プロジェクトを実施している。本プロジェクトは、技術職員らが体験型の科学実験教室を開催するもので、毎年500人以上の子供たちに科学の面白さを伝えてきており、年々活動の幅を広げている。今年度開催した、本プロジェクト10周年を記念した科学実験イベントを中心に、本活動を報告する。		
発表者	布川 圭子 ぬのかわ けいこ	所属	名古屋工業大学 技術部 計測分析課
発表題目	高校生を対象とした化学実験講習会の紹介		
概要	名古屋工業大学化学実験室では、10年ほど前から愛知県高等学校文化連盟の自然科学部会が主催する実験講習会を毎年開催している。対象者は当該部会に登録している高校の生徒約20名である。テーマは「生活の中の化学 ペットボトルを分解してみよう、いろいろな香りを化学で作ろう」で、概要の説明と4つの実験から構成されている。本発表では実験講習会の様子や内容等について紹介する。		
発表者	大西 弘志 おおにし ひろし	所属	医学系部門 機能グループ
発表題目	歩行訓練用リハビリテーション機器の開発		
概要	適応生理学分野でリハビリテーション機器の開発と、その機器が歩行に及ぼす影響を調べる研究を行っています。整形外科的疾患、脳疾患等で歩行困難な人がリハビリをするための機器を工学部、地域学部、昭和電機との共同開発を行い、テラスウォーカーというリハビリテーション機器を商品化しました。この機械の開発過程について報告します。		
発表者	蓼本 早百合 たでもと さゆり	所属	医学系部門 分析系グループ
発表題目	医動物学検査について		
概要	医動物学検査とは、ヒトの寄生虫と衛生動物を同定する検査です。寄生虫とは単細胞の原虫類と多細胞生物の蠕虫類(条虫類・吸虫類・線虫類)の2つに大きく分類され、一般に体内に寄生するものをいいます。一方、衛生動物は病原体を媒介する動物、毒害・病害を与える外部寄生をする動物などが該当します。県内外の医療機関の医師や臨床検査技師などから、同定依頼のあった症例をいくつか挙げ、医動物学検査の流れや検査方法などについて紹介します。		

発表者	畑岡 寛 はたおか ひろし	所属	工学・情報系部門 設計・計測系グループ
発表題目	2016年鳥取県中部の地震震源域およびその周辺における 電気比抵抗構造調査に関する活動紹介		
概要	鳥取大学大学院工学研究科が全国17国立大学法人等ならびに関連省庁の実施機関として一翼を担う、新しい建議「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の推進について」に基づく研究計画の一環として、地磁気・地電流調査の観測に携わったので紹介する。本年度の当初計画では、主に、四国地方において実施予定であったが、2016年10月21日鳥取県中部の地震(M6.6)の発生を受け、新たにこの震源域の地下比抵抗構造に関する調査も実施した。		
発表者	宮田 直輝 みやた なおき	所属	工学・情報系部門 情報基盤系グループ
発表題目	広島大学での研修を終えて		
概要	2016年1月から4月までの約3ヶ月にわたり広島大学情報メディア教育研究センターへ研修に行かせていただきました。その経験について、今後の技術職員による長期間研修の可能性と必要性という視点から発表をさせていただきます。		